

問題の発見と整理 ～未来の情報機器

情報 I 第6回授業

02報社会と問題解決

教科書pp.94～95

対応データ 22exp05.xlsx(前回)

演習2 「未来の情報機器」

- 次にある「モノ」の「機能」を「融合」させると、どのようなものができるだろうか。自由に想像してみよう。
- 機能の一部でも良い。また、形状等でも良い。
- ブレインストーミングやフレームワークを思い出して考えてみよう。

- ① 電子レンジ + インターネット
- ② 掃除機 + カメラ
- ③ 洗濯機 + エアコン
- ④ 携帯電話 + 動画 + 教室

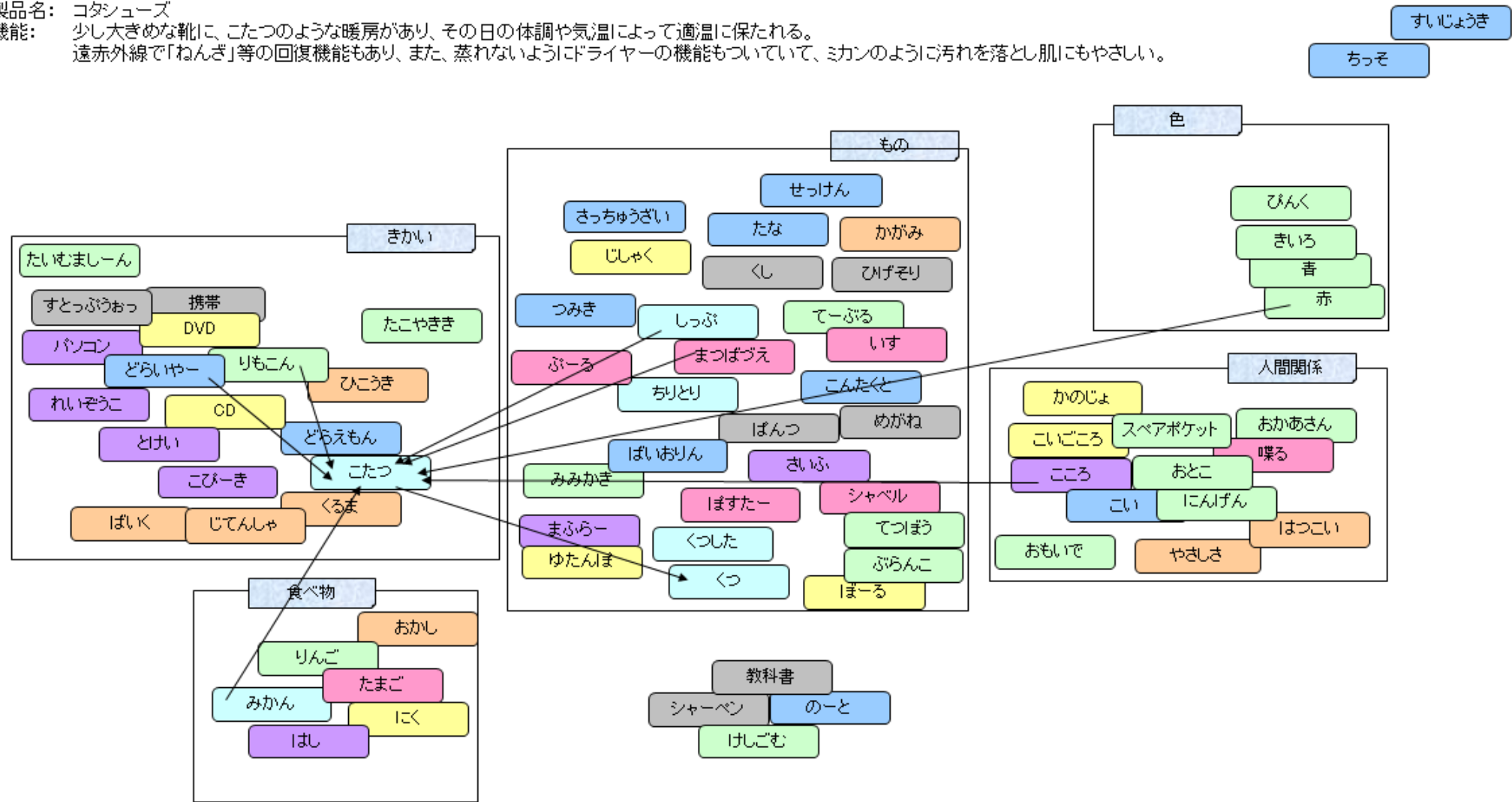
アイデアを整理する方法

「カードを用いたアイデア整理法」(p.49)

1. ブレインストーミング等で出てきた内容を、グループ分けする
2. グループごとに、簡単に名前をつける
3. 似たもののグループは近くに配置
4. それらを眺め、典型的なストーリーを創造

アイデア整理の例 (未来の「情報機器」の開発)

製品名: コタシューズ
 機能: 少し大きめの靴に、こたつのような暖房があり、その日の体調や気温によって適温に保たれる。
 遠赤外線で「ねんぎ」等の回復機能もあり、また、蒸れないようドライヤーの機能もついていて、ミカンのように汚れを落とし肌にもやさしい。



演習(10分)

- 前回の内容を参考に、未来の情報機器を考えてみよう。
 - まずは、「核」となるものを決め、それに、主として何をつけると良いかを考えると良い
 - 2つだけでなく、たくさんのモノの要素や性質を盛り込んでみよう
- 具体的に、どのようなことができるのかを明確にしよう。
 - ある程度の「未来感」が入って良い
- 名前も考えよう。
- 抽選で発表者を決めます。自分が説明するつもりで参加を！

本日のまとめ

- 「ブレインストーミング」を大切に
 - 特に、「批判」の禁止！
 - 非現実的なものは、採用しなければ良いだけ
 - むしろ、そこから広がるアイデアを重視する
 - 批判をするくらいなら、もっと建設的なアイデアを
- たくさん出されたアイデアを「見える化」する
 - 「見える化」により、アイデアが整理される
 - そこから新たなストーリーが見えてくる